



ふんしんびより

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.6

2008年7月発行

オーストラリア・ペンリス市シニアウィーク文化交流

～市民訪問団がペンリス市を訪問し、日本文化や伝統芸能を紹介～



ペンリス市シニアウィーク文化交流市民訪問団の皆さん

親善友好都市ペンリス市で4月5日から1週間開催されたシニアウィーク（敬老週間）に参加するため、福住孝国際交流協会会長を団長に、協会会員や市内の文化協会会員等からなる初の市民訪問団22名がペンリス市を訪問しました。一行は、ペンリス市では4日間の日程で滞在し、到着の夜からペンリス市国際友好委員会メンバーとのバーベキュー夕食会にのぞみました。その後、訪問したシニア市民センターやリタイヤメントビレッジで開催された敬老イベントに特別参加し、大正琴や民謡、炭坑節などの伝統芸能の披露をはじめ茶道や書道などの日本文化を紹介しました。現地では、高齢者の皆さんに大変喜ばれ、改めて、草の根交流の素晴らしさを認識しました。



訪問先のシニア市民センター等で茶道や書道、折り紙を紹介し、友好を深めました。



ブーメランの絵付けに挑戦。オーストラリアの文化にも触れました。（アボリジニ教育文化センターにて）

C・O・N・T・E・N・T・S

- 特集 ペンリス市シニアウィーク文化交流……1～2
- H.I.A.トピックス……3
- H.I.A.だより……4～5
- 国際交流サロンのページ……6

- あなたも親善大使お便りコーナー……7
- 会員のひろば……7
- H.I.A.からのお知らせ……8

特集

思い出フォトアルバム

大正琴



民謡



ヨサコイ



訪問した高齢者施設で日本の伝統芸能を披露し、拍手喝采！



◀デービスペンリス市長（中央）を囲んで記念撮影（市庁舎にて）



▼ペンリス国際友好委員会グリーンノ会長（右）と歓談する福住会長



▼ペンリス国際友好委員会主催の夕食会で全員で炭坑節を踊りました。



炭坑節

***** 帰国報告会での皆さんの感想から *****

- 木々や自然がすごくきれいで、鳥のさえずりで目が覚めた。
- 高齢者が集まるシニアセンターでは、涙を流して喜んでもらえた。
- 高齢者の皆さんの笑顔がすごく良かった。あんなすてきな笑顔になりたいと思った。
- 英語が話せなかったけど、単語とジェスチャー、手振り、身振りで交流をし、気持ちが通じ合った気がする。
- 初めは、不安だったが、むこうについたら、毎日が楽しく、参加して本当に良かった。
- オーストラリアの人は寛大で、フレンドリーで、すごく人柄が良かった。
- 帰国して、4月にペンリス高校生訪問団来市を報道する新聞の「ペンリス」の文字が、小さい記事だが、とても大きく感じた。交流を通して、身近に感じる。これが姉妹都市のメリットだと思う。

第13回国際フレンドシップアート展を開催しました

テーマ:「地球環境へのメッセージ」

白山市と本市の親善友好都市等の小中学生の作品を展示する第13回アート展に、7ヶ国8都市から107作品が集まり、昨年10月から今年2月にかけて市内公共施設と小学校で巡回展示を行い、地球環境の大切さを訴えました。市内在住の画家西のぼる先生に全作品の中から各都市1点ずつ、優秀作品8点を選んでいただきました。



▲白峰小学校での展示風景



白山市 松尾 健広
白山市立広陽小学校 5年
「地球温暖化をくいとめよう！」



静岡県藤枝市 田中 優里愛
藤枝市立西益津中学校 2年
「愛されている地球」



アメリカコロンビア市 アーチャー・スティーブンス
ウエスト中学校 9年
「より美しい明日へ」



オーストラリアペンリス市 ミカ・ブランコ
ブラックウェル小学校 6年
「地球を救おう」



イギリスボストン町 ノエル・キャサリン・エスカヨ
ボストンハイスクール 7年
「人間にとってなくてはならない惑星」



メキシコメキシコシティ市 モンテス・リリアナ・モンセラット
中央学園 12歳
「宇宙のオーケストラ」



ドイツラウンハイム市 サラ・アージュン
アンネフランク総合学院 5年
「チューリップと太陽」



中国瀋陽市 張 蘇鈞
瀋陽西平小学校 4年
「緑色の地球」

(生徒の学年や年齢は昨年度のものです。)

白山市と藤枝市の作品20点は、現在、英国ボストン町で展示され、その後、豪州ペンリス市でも展示される予定です。なお、今年のテーマは「生き物のいる風景」です。秋の展示会をお楽しみに。



メキシコシティ中央学園 松原先生から届いたお便りを紹介します

(略) HPでの優秀作品の掲載の様子をプリントアウトして、学園集会にて、全校生徒や保護者の皆様に見せました。西のぼる先生から選んでいただいた作品の話をした時、リリアナちゃんが信じられなさそうな顔で、そばにいた友達を強く抱きしめたりして、握手したりしました。全員からの温かい拍手がとても感動的でした。メキシコの義務教育では美術の時間が少なく、絵を描く機会がほとんどありません。ですから、このアート展の招待のおかげで、将来、日本へ行く夢を持って、日本語の勉強の励みにもなっています。(略)

H.I.A. だより

HIA 通訳ボランティアグループが発足しました

市内の観光ガイドの通訳や行政情報の翻訳などのお手伝いをしていただく通訳翻訳ボランティアグループが3月に発足しました。現在、英語28名、中国語6名の方が登録しています。同ボランティアの皆さんは、市や協会からの通訳・翻訳のニーズがあった時に活動する他、今年は“白山市の祭り”をテーマに研修を行っています。市の観光推進に、同グループの今後の活躍が期待されています。



▲おかえり祭りで観光ボランティアの説明を聞く通訳ボランティアの皆さん（美川駅前にて）

市国際交流協会理事会が開催されました

5月19日

平成20年度国際交流協会理事会が市民交流センターで行われ、協会役員21名が出席し、平成19年度事業報告及び決算、平成20年度事業計画及び予算、また、規約改正等について、審議され、それぞれ承認されました。議案審議に先立ち、先頃、訪問したペンリス市シニアウィーク文化交流訪問団の交流の様子をスライドにて上映しました。

在住外国人カラテと護身術を学ぶ

3月2日

在住外国人のための「カラテと護身術」講座がボランティアグループモーニンググローリー松任の主催で、市民工房うるわしで行われました。空手道大道塾石川松任支部の松浦長一郎支部長が講師を務め、ベトナムやブラジル、中国出身の約40名が武道の精神と身を守る技を学びました。講座後は、モーニンググローリーのお世話により、茶話会が開かれ、交流を行いました。



▲カラテを学ぶ参加者のみなさん

白山市ロシア協会 ウスリースク市と民間交流 5月12日～16日

市ロシア協会（松山外信会長）会員の一行5名は、5月12日～16日にかけて、ロシア・ウスリースク市を訪問し、露日協会ウスリースク支部との民間交流協定を提携しました。一行は、滞在中、ルジツツァ・セルゲイ市長を表敬訪問し、角市長からの親書を手渡しました。今後、協定書に基づき、双方の協会で、経済、教育、スポーツ分野での交流を図る予定です。ウスリースク市は、ロシア沿岸地方の中心都市ウラジオストク市の北方約110kmにあり、人口約15万6千人、ビール醸造などの食品工業や農畜産業が中心の都市です。一方、白山市ロシア協会は、市民レベルでロシアとの交流を促進することを目的に平成18年8月に設立されました。現在会員数は62名、ロシアの写真や、ロシア語やロシア料理教室などを行い、日露の友好を深めています。

国際理解講座

「英国を学ぼう “British Course”」 好評開講中

5月26日～7月14日

英国出身で、白山市の外国語指導助手のクリスティ・イネットさん（ロンドン出身）とオーゾーデ・ポウさん（ウェールズ出身）が、離任前に、英国の良さを少しでも知ってもらいたいとの思いから、様々な角度から英国を紹介する講座を8回シリーズで開催中です。移民社会の現状、政治、宗教、観光、文学、食文化など毎回違ったテーマで、スライドを交えながらわかりやすく紹介しています。会場は、熱心に聞き入る多くの参加者の熱気で包まれています。



▲イギリスの魅力を紹介する講師のお二人

H.I.A. だより

第8回ペンリス市高校生 ホームステイ交流団が来市しました

4月13日～23日

ペンリス高校から第8回ホームステイ交流のための高校生14名と引率教諭2名が来市しました。滞在中は、市内でホームステイしながら、市国際交流サロンでの日本語教室や、市内高等学校で授業体験、幼稚園児や高齢者との交流など、多くの市民の皆さんと交流を深めました。また、太鼓や着物着付け、茶道、ちぎり絵などの日本文化体験も堪能しました。特に思い出に残ったのは、雪の残る一里野スキー場でのソリ遊びだったようで、初めての雪体験に歓声をあげていました。



▲雪に大喜ぶするペンリス市の高校生たち（一里野スキー場にて）

滞在後半に行ったちぎり絵体験（指導 東田洋子先生）では、思い思いの題材をモチーフにうちわ作りをしました。滞在中の心に残った風景を作品にする生徒が多く見られました。その中からの2作品を紹介します。



ジョー・ハワードさんの作品
「小舞子海岸での夕日」



ステイブン・ドッグラグランさんの作品
「ふるさと館庭園の鯉」



▲自分たちの作品を
ミニプレゼンテーション（発表）

ペンリス市シニア訪問団が 来市しました

4月14日

ペンリス市に住むシニア（高齢者）グループが、日本旅行で来日の際、本市に立ち寄り、角市長を表敬訪問しました。その後、浅野太鼓楽器店、小堀酒造店を見学しました。同酒造店では、シニアの皆さんのために、琴演奏が披露されました。



▲角市長を表敬訪問したペンリス市シニアの皆さん

* 市内団体等のペンリス市訪問 *

白山市農業委員会農業視察 H19.11.12

市農業委員会委員（番野和夫会長）等一行11名がペンリス市を訪問し、農業視察を行いました。一行は、市長表敬訪問を行った他、同市にある先端技術を生かした養鶏場やマッシュルーム生産施設を視察しました。

松任土地改良区理事会農業視察 H19.11.14

同理事会の役員（東野紀久雄理事長）等一行13名が、オーストラリア農業視察研修の折に、ペンリス市を訪問し、市長や市関係者と農業に関する意見交換を行った他、ペンリス湖など開発地区を視察しました。

金城大学保育研修 H20.2.24～28

同大学幼児教育学科のオーストラリア保育研修は、今回からペンリス市を主な研修先に移し、同市で4泊5日の研修を行いました。参加した13名の学生は、滞在中、ペンリス国際友好委員会メンバー宅でホームステイをしながら、市内の保育センター等で実習を行いました。

白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間	午前9時～午後6時		
休館日	月曜日(祝日の場合はその翌日)、 12月29日～1月3日まで		
場 所	〒924-0872 白山市古城町2 (学習センター向い、松任文化会館横)		
TEL/FAX	076-274-3371		
E-mail	misalon@asagaotv.ne.jp http://www.asagaotv.ne.jp/~misalon/		

最近の日本語クラス

「四川省の人はいますか？」中国四川省の大地震の後、来館の皆さんからかけられた言葉です。サロンで勉強している中国人は約70人。幸いにも四川省出身の方はいませんでした。中国の方はもちろん、皆さん毎日報道される四川省の様子に大変心配されています。そんな中、研修生の蘇 伯衡さんが以下のように自分の思いを書いてきました。彼は日本語の勉強として、時々、自分の思いを文章に書いてきます。それを日本語指導ボランティアが添削します。日本語クラスに来られなくてもそんな勉強の仕方もあるのだと気づかせてくれます。

** 蘇 伯衡さんの文章より抜粋 **

「母は偉大だ」

昨日、私はインターネットである文章を読んだことがありました。四川の地震の文章について。医師は彼女を発見した時、彼女はもう死亡でした。突然人がいる。赤ちゃんがいる。まだ生きている。彼女は静に寝ています。医者は布団を解いた時、布団の中で1個の携帯電話がある。「親愛なる宝物、生きていたらぜひ私はあなたを愛することを覚えました。」見た人はすべて泣きました。私は文章を見た後で、私も泣きました。親愛なる母、今元気ですか。私はあなたを思いました。息子はこちらで平安の幸福を祈ります。

サロンでの活動紹介

* パキスタン見聞 H20. 2. 16 (土) *

2001年、JICAのボランティアとしてパキスタンに2年間滞在し、今年に2回くらいボランティア活動のために現地を訪れている森啓子さん(協会員)に「日本人が忘れてしまった心」という内容で、パキスタンについてお話していただきました。女性が一人で買い物に行かない、バスにも乗らない。どんなに愛する家族であっても葬式には行けない。学校へ行きたくても行けない子ども達が大勢いる。結婚式当日初めて相手の人に会うなど日本では考えられないお話をお聞きしました。しかし、その根底には男性が女性を守る、年配者を尊敬し労わるといった昔の日本の良いところが残っていると思ったそうです。参加者から次々と質問が出て予定の時間を延長しました。



▲パキスタンの民族衣装を着て紹介する森啓子さん

韓国語講座終了 (H.19.12.15 ~ 20.3.15)

サロンで日本語を学んでいた韓国人留学生鄭 大源さんがボランティア講師となり、サロンでの学習を卒業するにあたり、“恩返し”として3ヶ月間限定の韓国語講座が行われました。日本語を使わない同講座は、韓国語の魅力に触れる良い機会となったようです。

サロンからのお知らせ

○カナダ見聞(7月中旬)

7月末で1年間のロータリークラブ交換留学を終えるアンドリュー・ダーナムくんが日本語でカナダ紹介に挑戦します。

※詳細な日時は近くになりましたらサロンへ直接お問い合わせいただくか、市国際交流サロンホームページでご確認ください。

○バンラデッシュ帰国報告会&JICA シニア海外ボランティア活動報告会 7月25日(金)14:00~15:30

海外での国際協力活動経験のある協会員お二人がジョイント報告会を行います。ぜひご参加ください。

「あなたも親善大使」お便りコーナー

このコーナーは、草の根レベルで国際交流・協力の活動を行っている皆さんを紹介するコーナーです。今回は、協会会員で、「ピースポート」に参加された酒井愛さんからのお便りをご紹介します。

「ピースポート」に参加して

昨年、2月26日から6月6日まで、約100日間をかけてピースポートで地球一周をしました。ベトナム、スリランカ、ケニア、メキシコ、アラスカなど19カ国で、たくさんの人や文化、自然と出会い、本当に「かけがいのない時間」を過ごさせてもらいました。

旅を通して感じたことは、世界は思ったよりずっと近くて、人はみんな同じだということです。観光地でも、途上国でも、そこには温かい人々がいて、お金で変えない幸せがいっぱいありました。帰国して約1年、毎日世界中の友達を想います。自分のちょっとした行動が本当に地球のどこかに影響を与えているんだと実感します。世界中の一人でも多くの人が幸せに今を生きるために、自分のために、そして日本のために、地球にも人にも優しい生活が今の自分にできることだと考えるようになりました。

酒井 愛 (八ツ矢町)

ピースポートは国連の特別協議資格を持つNGOです。国際経済社会理事会を通じて、世界中の人々の声を国際社会に反映させていく活動を続けています。1983年以来、これまで延べ3万人以上の人たちが、世界100ヶ所以上の港を訪れ、各地で民間レベルのネットワークを築き上げています。



▲ベネズエラの少女たちと。まったく言葉も通じず、とても危険な国でしたが、子供たちと一緒に踊ることが思い出です。(中央が酒井さん)



▲ベトナムのダナン青年会の皆さんです。こちらも言葉が通じませんでしたが、気持ちは通じ合い、抱き合ってお別れしました。

会員のひろば

親子で楽しむ英語育児サークル

「ぱんぷきんキッズ」 - 成町 出城公民館

協会会員の佐藤麻理子さんが主宰し、活動している「英語育児サークル～ぱんぷきんクラブ」をお邪魔しました。場所は、佐藤さんが住む地区の出城公民館1階の和室です。原則として、毎月第3火曜日の午前、親子で英語に触れ、楽しんでもらおうと、得意の英語と子供好きな性格を生かして、次女のなぎちゃんの出産を機に始めました。お邪魔したこの日は、6組13人の親子が集まりました。最初の30分が英語活動です。CDを使いながら、佐藤さんが、子供達といっしょに、歌を歌ったり、手遊びをします。動物の絵を見せながら、英単語をリピート。音楽CD編集も絵カードもすべて、佐藤さんや参加のお母さんたちの手作りです。子供たちの集中力も30分。残りの時間、子供たちは思い思いに遊び、お母さんどうしは育児の悩みなど、おしゃべりタイム。佐藤さんは、「親子にとって、楽しくリラックスできる時間となれば嬉しい。」と笑顔で語っていました。

- 日 時：基本は月1回第3火曜日
(午前10:30～正午)
- 場 所：出城公民館和室
- 対 象：0歳～未就園児
- 参加費：300円(資料、材料費として)
- 連絡先：TEL & FAX 076-277-4645
(佐藤さんまで)



◀「育児中の方、親子で一緒に楽しみましょう」と佐藤さん

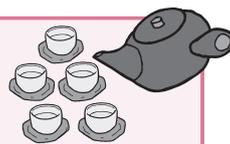
英語の手遊びをする
佐藤さんと参加の親子▶



参加者募集

「台湾茶から学ぶ中国語と台湾文化」

小松～台湾定期便就航記念事業



日本人にもなじみ深い「烏龍茶」の本当の色をご存知ですか？在住の台湾出身の方で組織する北陸地区台湾朋友会の会員の皆さんが、台湾茶の作法を実演しながら、本格的な烏龍茶を紹介します。また、民族衣装を着用して紹介する台湾の習慣や生活、簡単な中国語レッスンなど、台湾の魅力にたっぷり触れる講座です。ぜひ、ご参加ください。

日時 平成20年7月27日(日)
午前10時～正午まで(2時間)
場所 鶴来総合文化会館(クレイン)研修室
定員 30名(定員になり次第締切)
参加費 500円

申込締切 7月14日(月)まで
申込先 市国際交流協会 076-274-9520
その他 保育室あります。(希望の方は、お申し込みの際にお申し出ください。)

主催 北陸地区台湾朋友会 **協力** YOU-I(友愛)
後援 白山市国際交流協会、白山市観光物産協会、台湾観光協会大阪事務所

HIA 交流ボランティア募集

協会事業にお手伝いいただく交流ボランティアを募集します。
“参加”から“参画”へ！ご協力をお願いします！

(例えば) 在住外国人グランドゴルフ大会でのカレー作りやクリスマスパーティーの企画や準備、その他国際理解講座(料理教室や文化講座など)の当日受付や準備のお手伝い。
(活動方法) 市国際交流協会に「交流ボランティア」としてご登録いただき、お手伝いの必要がある時に事務局から随時連絡させていただきます。

(申込先) 市国際交流協会 076-274-9520
または、市国際交流サロン 076-274-3371

第21回ジャパンテントホスト家庭募集

恒例のジャパンテント。今年も白山市に68名の留学生がやってきます。留学生を受け入れてくださるホストファミリーを募集します。

○受け入れ日程 8月21日(木)夕方～24日(日)朝までの3泊4日。留学生は、22日(金)の日中は、市のプログラムに参加。23日(土)はホストファミリーの皆さんとフリータイムです。
○申込先 市国際交流協会 076-274-9520

この夏の青少年ホームステイ交流情報

第9回米国コロンビア市中学生ホームステイ交流

コロンビア市中学生11名と引率者3名が7月16日から26日まで来市。市内でホームステイを行います。

第8回中学生英国ボストン町ホームステイ交流

市内中学生20名と引率者2名が7月12日から25日までボストン町を訪問し、ホームステイを行います。

第1回溧陽市・南京大学附属中学ホームステイ交流

市内中高生18名と引率者4名が8月3日から11日まで溧陽市と南京市を訪問し、それぞれでホームステイを行います。

会費納入のお願いと新規会員募集

今年度、団体や法人会員の特別会費を30,000円から15,000円に規約改正を行いました。今後ますます、各種団体や外国人研修生を受け入れている企業等との連携が必要です。何卒ご協力をお願いいたします。普通会员(個人)についても、随時、会費を募集しています。すでに、会員の方は、お早めの会費納入をお願いします。

- 普通会员(個人) 年会費1,000円
- 特別会員(団体、法人) 年会費15,000円
- 問い合わせ：市国際交流協会 076-274-9520
または、市国際交流サロン 076-274-3371まで

市国際交流サロン職員「王さん」紹介

4月から同サロンの職員として中国遼寧省瀋陽市出身の王迪(オウ テキ)さんが勤務しています。王さんは、金沢星稜大学大学院(修士課程)をこの3月に修了しました。高校生の時から日本で生活しているため、日本語は全く不自由ありません。サロンでの業務のほか、この夏に中国へ派遣する市内中高生の事前研修の講師としても活躍中です。9月には、協会員を対象に、“はじめての中国語と文化を学ぶ”講座を開講予定です。お楽しみに!!



▲サロンに勤務する王迪さん
「皆さん、よろしくお願ひします!!」

世界の絵本読み聞かせ

(毎月第3土曜日・松任図書館)

○7月の絵本 7月19日(土) 13:30～14:00

アメリカの絵本 読み手：メアリー・ライシングさん

(松任高等学校外国語指導助手)

※予定は、随時HPでご確認ください。

編集後記

事務局のある当課がこれまでの総務部から観光推進部になり、課名も国際交流課となりました。市の観光資源や県内の交通ネットワークを活用し、国際交流を通して、白山市の魅力をもっと発信しようという希望が込められています。姉妹都市に限らず、近隣の国々との往来や交流も今後、広がっていきそうです。その役割を担う当協会に、皆さんのますますのご参画をお願いします。

発行 ■ 白山市国際交流協会(Hakusan International Association)
事務局 / 白山市役所観光推進部国際交流課
TEL 076-274-9520 FAX 076-274-9546
E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp